



令和7年10月3日

独立行政法人福祉医療機構

経営サポートセンター長 佐野 伸

経営サポートセンター

リサーチグループリーダー 緒方 武虎

担当 寺尾・溝川・菅野（電話）03-3438-9932

（FAX）03-3438-0371

病院経営動向調査（2025年9月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎（3月、6月、9月、12月）に実施しています。今回は2025年9月に実施した本調査の結果についてご報告します。

詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：病院（353施設）を運営する法人275法人（うち、医療法人230法人）*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、2025年度上半期の経営状況等
- 回答数：病院：247 医療法人：152 有効回答数：病院：247 医療法人：152
- 有効回答率：病院：70.0% 医療法人：66.1%
- 実施期間：2025年9月1日（月）～ 2025年9月22日（月）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【病院の動向】

- 医療収益のDIは、一般病院が10（前回調査より変化なし）、療養型病院が△2（同9%ポイント低下）、精神科病院は△12（同2%ポイント上昇）となった。
- 医療収支（黒字・赤字）のDIは、一般病院が△36（前回調査より8%ポイント上昇）、療養型病院が2（同7%ポイント低下）、精神科病院は△36（同1%ポイント低下）となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が△28（前回調査より3%ポイント上昇）、療養型病院が△6（前回調査より1%ポイント上昇）、精神科病院は△52（同4%ポイント低下）となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が△32（前回調査より3%ポイント上昇）、療養型病院が△30（同4%ポイント上昇）、精神科病院は△55（同12%ポイント低下）となった。
- 経営上の課題として「人件費以外の経費の増加」を挙げた病院は、一般病院が72.8%（前回調査より5.3ポイント上昇）、療養型病院が70.4%（同4.5ポイント上昇）、精神科病院が71.4%（同2.9ポイント上昇）となった。

【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは11（前回調査より変化なし）、事業収支（黒字・赤字）のDIは△13（同15%ポイント上昇）、資金繰りDIは△26（同2%ポイント低下）、従業員数のDIは△42（同5%ポイント低下）となった。

【その他】

- 2025年度上半期の医療収益（見込み）について、前年度同期比5%以上増加する見込みの病院が24.5%、5%以上減少する見込みの病院が18.4%となった。また、医療利益（見込み）は、前年度同期比5%以上増加する見込みの病院が21.1%、5%以上減少する見込みの病院が43.0%となった。
- 医療収益が増加見込みとなった主な理由として「入院患者数の増加」と回答した病院が63.3%と最も多かった。一方、医療収益が減少見込みとなった主な理由として「入院患者数の減少」と回答した病院が64.4%と最も多かった。
- 医療費用が増加見込みとなった主な理由として「経費の増加」と回答した病院が43.6%と最も多く、続いて「人件費（従業員数）の増加」と回答した病院が31.8%であった。